



# 農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.jp/nodai/>

第 11 号  
香川県立農業大学校  
〒766-0004  
仲多度郡琴平町榎井 34-3  
TEL0877-75-1141  
FAX0877-75-3989  
E-mail : nodai@mx8.tiki.ne.jp

- 専攻実習の取り組み      □活躍する卒業生・研修生      □各種資格試験への取り組み
- 農業経営力養成講座に参加して      □農大ふれあい市開催      □25 年度学生募集

## 専攻実習の取り組み

卒論に向けて

野菜園芸コース 湯原 健一

本校では二年になると校外実習生と校内実習生の二つに分かれて週に3日農作業を行います。そのうち私は校内実習生として日々、ほ場の野菜の世話や収穫、ほ場の畝立て、病害虫の防除などを行っています。最近では、本格的に卒業論文の調査に力を注いでいます。



私が調査している課題は、「アップカット耕耘がレタスとブロッコリ

ーの生育に及ぼす影響」です。その内容は、土壌の碎土率や三層分布などがロータリーの正転と逆転によってどのような違いがでるか、また収穫段階での総重量、球重、高さ、根の張り具合にどのような影響がでるかというものです。

現在は、土壌のサンプリングを終えたので、データにまとめることと収穫までの管理を大切にしてゆきたいというところです。

日射制御型拍動自動灌水装置の花き栽培への導入検討

花き園芸コース 大山 竜司

香川県は瀬戸内海気候にあり、温暖な気象条件を生かして様々な園芸作物が栽培されていますが、年平均降水量は1000mm程度と雨が少なく常に渇水に悩まされています。

そこで私が注目したのが「日射制御型拍動自動灌水装置（以降拍動灌水装置とする）」です。この装置は近畿中国四国農業研究センター四国研究センターが開発し、平成15年から香川県農業試験場が花き栽培への適応性を検討していました。節水および減肥が可能であることが報告されており、香川県での園芸作物栽培にぴったりであると思いました。

今回は、その装置よりさらに省スペースで操作性の向上が図られた



改良型拍動灌水装置「ソーラーパネルサーエ」を輪ギク盆出荷作型で使用し、その適応性を調査してみたところ、従来装置と同様灌水水量が削減でき、操作も簡単であることがわかりました。また、改良型拍動灌水装置の設置も先生の指導の下、ほとんど私ひとりで行いましたが、従来型以上に簡単で、お年寄りや女性にも組み立てることが出来るだろうと思いました。

現在、従来型と改良型を並べて設置し、輪ギク年末集荷作型で使用しながら、データのとりまとめを行っています。卒業論文が水不足で悩まされている地域で活用してもらえれば有難いと日々頑張っています。

専攻実習に取り組んで

果樹園芸コース 宮武 貴大

僕は、買田農場で実習をしています。通学は、農場が少し山の中なので上り坂等があり自転車では疲れるので今はスパーカーブで通学しており快適な通学です。

農場での作業は、担当樹種であるブドウの作業を主にしています。最近やったことは、僕の課題研究である「シャインマスカット」のフルメット溶剤による果実肥大促進効果の検討です。一年生の最初から頑張っていた研究なので慎重に糖度・果房長・粒重などの調査をしました。調査をしてみたことは、見た目で最初から結果を予想しては、ダメだということです。現在は、得られたデータをもとに抄録を作っています。



善通寺ガーデンフェスティバルへの参加

造園緑化コース 井上広樹

昨年に引き続き、今年もガーデンフェスティバルにイメージをがらりと変えて挑戦しました。

今回のテーマは『月と地球』、コースのみんなで色んなアイデアを出し合いながら造り上げました。



大会までの四か月間、設計・材料集め・庭の組立など、どの工程にも苦労がいっぱいでした。印象に残っているのは、シユロの木の運搬と花の配色・植栽です。シユロの木があまりにも重くて運べなかったり、何の花を使うか一日中考えたり、言い出せばキリがないほどの苦労がありました。

りました。

実際に庭を造り上げたときの、あの達成感は何物にも代えられませんが、また、完成してから「ああしておけば、もっといいものができたの。」と思うこともありました。

残念ながら賞をもらうことはできませんでしたが、庭を造るいい経験ができたと思っています。またフェスティバルを通して様々な人と出会い、交流を深めることもでき、これからの私にとって、非常に意義あるものでした。

豚の去勢時期の違いによる調査

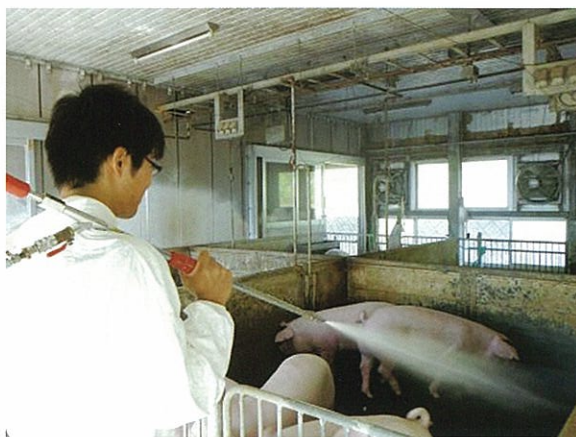
畜産コース 山地大介

私は三木町にある県の畜産試験場の養豚部門で専攻実習を行っています。実習は養豚部門の先生のご指導のもと、餌やり、豚舎の掃除などの飼養管理を中心に行なっていますが、たまには豚の人工授精をやるなど専門的な仕事もやっています。実習を始めた頃は、何をしているのか、どうやっていいのかわからず失敗ばかりの連続で大変でしたが、今では少しずつ理解もできたかと自信もついています。

卒業論文は「豚の去勢時期の違いによる発育調査および肉質検査」を行っていて、試験の豚は「卒業論文を完成して卒業したいという。」私の思いが通じたのかすくすくと育

っています。

今後は、卒業論文の取りまとめを行っていくとともに少しでも豚についてわかるようにしていきたいと思っています。



### 活躍する卒業生・研修生

桑島春佳さん(畜産コース卒業生)

桑嶋さんは、丸亀市飯山町出身で、担い手養成科畜産コースで家畜飼養管理などを学びました。農大への入学は、高校時代に学んだ養鶏について専門性をより深く学んでみたかったこと、小さい頃より動物好き



な性格が高じて決めたそうです。現在は、三豊市高瀬町の(有)安藤養鶏場社員として採卵鶏の飼育管理に携わっています。御社は農大2学年時の専攻実習先でもあり、当時は土日もアルバイトで通っていました。社長の気さくな人柄に惹かれて今日までお世話になつていくとのこと。担当している仕事の内容は、生まれて間もなく購入した約30,000羽のひなの管理です。採卵鶏として鶏舎へ移動する前の約1ヶ月間の飼育管理は、ストレスに弱いひなをいかに丈夫に育てるかがポイント。温度管理などに気を使いますが、順調に大きくなった時の充実した達成感の仕事の中でも何よりの喜びです。

学生の皆さんへ。農大で学んだこと、特に専攻実習で経験した農業の現場は、一生懸命取り組み、卒業後に活かせるものが必ず見つかるということです。彼女の今後の目標は、自ら考え行動し、様々な業務を任せてもらえるようになることと、桑嶋さんはさわやかに語ってくれました。

國方恭久さん (研修科修了生)



高松市小村町で精力的に農業に取り組み始めた國方恭久さんを紹介します。國方さんは平成二三年度の本校研修科修了生です。野菜コースで一年間野菜栽培の研修を受けられました。

准看護師免許や剣道教士七段という資格をもち、温厚でありながら芯の通った人柄で、刑務官定年退職後に家庭菜園程度の楽しみだった農業を、収益に繋がるようにしたいと研修を受講されました。自宅は農家で、水田一四〇アールと畑地六〇アールを所有、そのうち施設が一二アールです。

「第二の人生は自分のもの」と意欲的に研修に取り組み、修了式では、研修科での知識が「糧」、同僚との関係が「活力」となったという感想をいただきました。

研修を修了して半年余りが経過した現在、実践を着実に進めており、ミニトマト二アール、水稲一〇アールを主として、ラッキョウ五アール他、人参、玉葱(シャルム)、ツルムラサキ等を試作するなどの日々楽しい農業を奥様と二人で経営しています。

出荷先の産地直売所では、お客さまの反応や周りの状況を見ながら袋詰めして値段を決めています。自分で作った野菜の評価も聞くことが出来、勉強になることもあるようです。今後とも受け継いだ農地を守り、楽しみながらも意欲的に農業に挑戦している國方さんの益々のご活躍をお祈りいたします。

資格試験の取り組み

農業機械利用技能者養成研修 I

農業大学校では、農業機械利用技能者の養成と農作業安全の啓発を目的として農耕車限定の大型特殊免許等の技能試験を行っています。主に大型トラクターの運転操作

技能を習得する内容で農業機械研修の一環として実施し、県運転免許センターの協力を得て昭和四〇年から取り組みんでいます。実施時期は第五水曜日のある月で、二四年度は五、八、一〇、一月の年四回の計画となっております。

五月と八月は既に終了しており三三名(うち学生一〇名)が受講し、全員合格することができました。一〇月、一月も全員合格を目指して研修を行いたいと思います。二五年度についても年四回を計画しています。



造園技能検定に挑戦

造園緑化コースでは、造園技能の向上と資格取得のため、国家検定である三級造園技能検定を一学年で、二級を二学年で取得することを目標に、本年もこの試験に挑戦しまし

た。  
入門編である三級検定は、四月から初めて造園を勉強する学生がほとんどのため、竹垣のシユロ縄での結束や、水系にあわせて敷石を据えるなどの実技課題を時間内に正確に出来るようになるために、一か月以上猛練習したかいあり、一学年六名全員が合格することができました。



また、二級検定は二学年を中心に計三名が、九月九日に実技検定を受験し、限られた二時間三十分の標準時間で四つ目垣や飛石を据える課題に懸命に取り組みました。二級の結果は、合格二名という成績でした。

二級三級どちらとも、炎天下での実技試験で、学生は体力的にも大変きつい思いをしましたが、それぞれ貴重な経験を得ることができました。

### 農業経営力養成講座に参加して

果樹園芸コース2年 江村 兼一



八月に東京で開催されたアグリフューチャージャパン主催の農業経営力養成講座に参加しました。

講師は、日本農業経営大学校長をはじめ、明治大学教授、地域ブランド農産物の生産・加工・販売を手がける企業の代表、全国農業青年クラブ協前会長の取り組み、有機農業の実践など、日本各地で活躍する農業者の事例を直接聞くことができました。

中でも生活情報誌オレンジページ代表の話は販売を拡大するなかで、読者ニーズにあわせてクレーム

対応を丁寧にしてきたこと。顧客の信用を積み重ねてきたという話がとても興味深く印象に残っています。  
グループ討議で全国各地から参加した生産者の意見に触れ、また、先進農業経営体の現地視察もでき、充実した研修の機会をいただいたと思っています。

### 農大ふれあい市開催！

本校の学生自治会が、恒例の「農大ふれあい市」を次のとおり開催します。

本年も学生が頑張つて趣向を凝らした企画を用意しておりますので、皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

・開催日時

十一月十日(土)

午前十時～午後二時

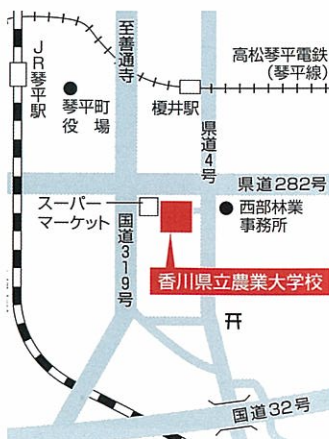
・内容(予定)

- 野菜、果物、もち米販売
- 苗物、鉢物、堆肥等販売
- 模擬店(焼きそば、焼き鳥、餅、菓子など)

・オープンキャンパス

来年度、入学を希望される方や保護者の方で校内見学を希望される方は受付までお越しください。

・お願い  
本校の駐車場は、数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。



### 25年度学生募集

・募集人員

野菜園芸・花き園芸・果樹園芸  
造園緑化・畜産5コースで45名

・一般入試

試験内容 小論文、一般教養、面接試験

・前期日程

受付期間 平成24年12月7日～  
12月21日

・後期日程

試験日 平成25年1月7日  
受付期間 平成25年2月15日～  
2月22日

試験日 平成25年2月28日

\*推薦入試は終了しました。